

2017.12 阿弥陀岳北陵(八ヶ岳)

日程：12月30～1月1日

山域：阿弥陀岳北陵(八ヶ岳)

参加：S藤 m N島 S藤 t 3名

天候：1日目晴れ、2日目晴れ後曇後降雪、3日目曇り後晴れ

行程：

1日目：美濃戸口 8：40→9：40 美濃戸山荘 9：50→10：40 中の行者小屋跡上 10：50→13：20 行者小屋(BC 幕営)

1日目

晴れ渡っているのに寒さを感じる、赤岳山荘の前の寒暖計は氷点下6度3分を指していた、美濃戸山荘前より南沢へ進む、トレースもしっかりあるうえ積雪も少なく歩きやすい、そんな調子が行者小屋まで続いた。



テント設営後、明日の取りつき偵察を考えていたが、案の定一旦テントに入ると仕切り直し難く、そのまま宴会に突入、今夜の食担はN島、メニューは豚シャブ、ウインナ、白菜1/4切、ネギ、マロニー、タップリのボリューム+ビール、焼酎で満腹満腹、おかげさまで予定の@米の出番はなくなってしまった。

2日目：幕場 7：40→阿弥陀北稜支尾根→9：00JP9：40→第一岩稜→9：35～10：30 第二岩稜→ナイフエッジ 11：15→11：30 阿弥陀岳 P11：35→12：20 中岳沢コル 12：30→13：30 行者小屋 13：50→14：30 赤岳鉱泉→15：00 ジョウゴ沢→赤岳鉱泉→16：10 行者小屋 BC

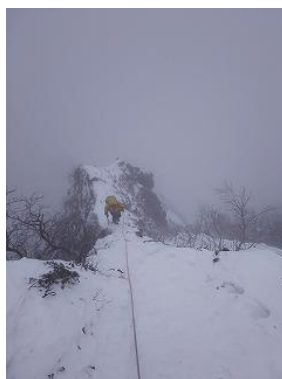
今朝も阿弥陀岳はじめ、赤岳、横岳とくっきりとその姿を見せてくれている。

さて阿弥陀北稜へむけて出発、予想通り北稜へ取りついたのであろうトレースが複数出てくる、私達は一番効率の良さそうな辺りの3本目のトレースを使わせてもらう、更にトレースはいくつかに分かれるので近いであろう左の尾根に取りつきJPへ、その先からは数パーティーの先行者に続く、



第一岩稜ではザイルを出す先行パーティーもある、「ザイルなしで行くぞ」と私達、まもなく着いた第二岩稜では2人が取りつき、3人、2人のパーティーが順番待ち、私達もザイルを着けて待機、又後に4人パーティーが到着する。

30分程で前のパーティーフォローが上がり始めると同時に私達も取りつく、40m余で1ピッチ(3級)を切り、更に岩稜(3級)20mを超えると短いが鋭いナイフリッジ10m超えでビレーは終了、アンザイレで阿弥陀ピークへ、このころにはすっかりガスの中、あれほどはっきり見えていた周りの山は全く見えなくなっていた。



早ければ、文三郎尾根経由で赤岳西壁を見乍ら降りても等と思っていたがこのガスでは早く降りた方がよいと、計画通りの中岳沢から行者小屋へ下る。

行者小屋で13時過ぎ、時間もあることからジョウゴ沢偵察、下の方は全く水が無い、赤岳

鉱泉では大阪の山仲間と偶然の出会いを慶び、再び行者小屋テント場に変える



昨日に引き続き年越しの大宴会に突入。

3日目：行者小屋 7：45→中の行者小屋跡→9：30 美濃戸山荘 9：50→11：00 美濃戸口
夜間数センチの積雪、昨日より少し暖かい感じ、外へご用向きのついでにテントに少し積もった雪を払う。

5時起床予定が、4時起きで朝食の準備、こちらも豪華な雑煮で新年を祝い、今年の安全登山を祈る。



撤収後、下山開始の行者小屋前で連盟会長と又もや偶然にばったり遭遇新年の挨拶を交わす。